

## SpeCLED2008 ver4.14 新機能のご案内

SpeCLED は、電極構造を含む LED チップ中の電流分布、及び温度分布を計算する 3D シミュレーションソフトウェアです。順方向電流、発光パワー、ウォールプラグ効率、積分放射スペクトル等の LED チップデバイス性能を、印加バイアスの関数として計算することができます。さらに、3次元構造のチップ全体の電流密度分布、温度分布を計算し、それらのデバイスの性能に及ぼす影響を予測する事が出来ます。

### 主な新機能、及び改善点

#### 1) フラグメントファイル（形状データ）の書き込み/読み込み機能

現バージョンより、選択した形状（Geom タブで作成した形状）をフラグメントファイル（frg ファイル）に出力させる事が出来ます。このフラグメントファイルは、別のモデル形状作成時に読み込み使用する事が出来ます。

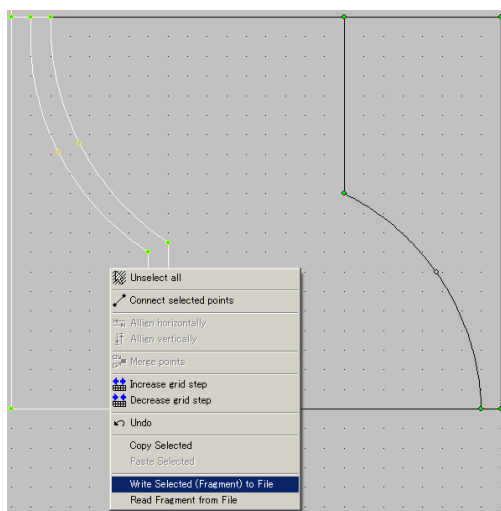


図 1. フラグメントファイル出力画面

#### 2) 形状のスケーリング機能

現バージョンより、作成した形状のスケーリングを行う事が出来ます。選択した形状に対して X 方向 Y 方向のスケールパラメータを設定する事によって形状の拡大縮小を行う事が出来ます。

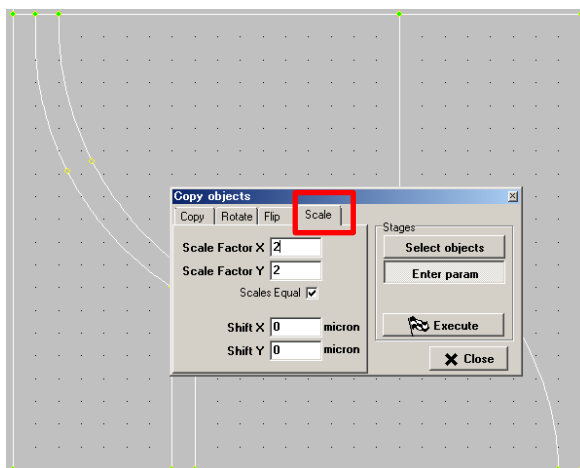


図 2. スケーリング設定画面

### 3) バッチシミュレーションにおけるバッチ条件の保存

現バージョンより、バッチシミュレーションにおけるバッチ条件を含むファイル（spt ファイル）を保存する事が出来ます。このファイルを他のモデルでのバッチシミュレーションに利用する事が出来ます。

\* 前バージョンでは、バッチシミュレーションの実行毎にバッチ条件を設定する必要がありました。今回の spt ファイルへの保存により、この作業の手間を省く事が出来ます。

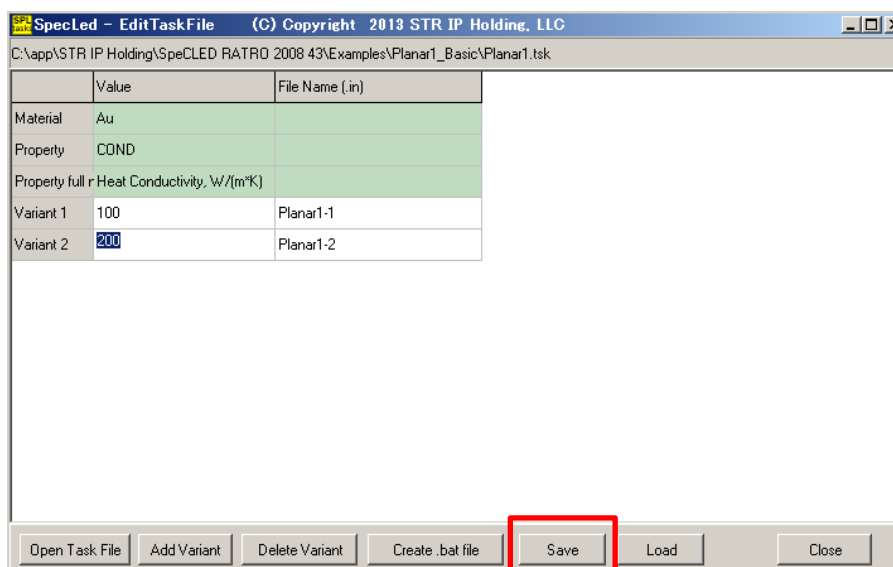


図 3. バッチ条件設定画面